

慢性腎臓病（Chronic kidney disease : CKD）

慢性腎臓病とは、以下の病態のいずれかの場合が持続している状態をいいます。

- ① 尿検査で異常（**蛋白尿**や**血尿**）がある
- ② 腎臓の形がふつうの形と違う
- ③ 腎臓の働き（**腎機能**）が悪い

慢性腎臓病（CKD）には程度があり、軽いものからステージ 1, 最も程度の重いものをステージ 5 としています。

病気ステージ	重症度の説明	腎臓の働き
ステージ 1	尿検査の異常（蛋白尿や血尿） 腎臓超音波検査で腎臓の形が違う	腎臓の働きは正常
ステージ 2	腎臓の働きが悪い	正常の 2/3 程度の働き
ステージ 3		正常の半分程度の働き
ステージ 4		正常の 1/3 程度の働き
ステージ 5	末期腎不全	正常の 10%未満の働き

実際、慢性腎臓病（CKD）の中で問題になってくるのは腎臓の働きが悪い患者さん、中でもステージ 3 以上（ステージ 3, 4, 5）の患者さんです。

これらの患者さんを重症 CKD の患者さんと呼びます。

【症状】

重症 CKD の患者さんでは、以下のような症状がでます。

おしっこに蛋白が漏れる

食欲低下・吐き気

血圧が高くなる

骨がもろくなる

背が伸びにくくなる

電解質のバランスが崩れる



貧血

【治療】

いったん悪くなってしまった腎臓をよくする治療は、現在のところありません。

ステージ 5（末期腎不全）まで悪くなってしまった場合には透析（血液透析・腹膜透析）や移植（生体腎移植・**献腎移植**）などの、自分の腎臓の代わりの治療をする必要があります。

そこまで腎臓の働きが悪くなることをできるだけ遅くするために、以下のことが言われています。

- ①**高血圧**にしない
- ②**尿蛋白**を減らす

①や②に対しては飲み薬があります。

また、上記に示したそれぞれの「症状」に対して治療をするためのお薬があります。